

中所得者用備えたB棟が完成

快適な居住空間を実現

平成十三年度に始まった町営住宅柳沢団地の建て替え事業。昨年三月に完成したA棟に続き、このほどB棟が完成しました。B棟には高齢者向け住宅や中所得者向け住宅を含む二十一戸を整備。建て替え前と比べ一住宅の部屋数が増え、居住面積も広がるなど快適な居住空間となっています。

宅です。

高齢者向け住宅は高齢者世話付住宅であり、A棟と同様に高齢者単身用と高齢者世帯用の二つのタイプが配置されました。いずれのタイプも、敷居や玄関などに

町営住宅柳沢団地B棟は、解体された旧柳沢団地敷地内のA棟の南側に建設されました。構造は鉄筋コンクリート造り三階建てで、延べ床面積が千五百九平方メートル。建設工費は約三億三千六百万円となっています。

B棟には、タイプ別に一般向け住宅を十二戸、高齢者向け住宅を六戸、中所得者向け住宅を三戸、合わせて二十一戸を整備。一戸当たりの居住面積は五十七〜七十四平方メートルで、建て替え前と比べ約二倍の広さとなり、居住空間も快適なものとなっています。

中所得者向け住宅は、今回新たに整備されたもので、中所得者層（月額所得二十万円〜六十万円）対象の特定公共賃貸住

高齢者相談所兼ねた 集会所を本年度建設

団地内住民のコミュニケーションの場となる柳沢団地集会所

また、居住者の安否確認や緊急時の対応などのため、室内に緊急通報システム装置が導入されたほか、一定時間、水の使用が無かった場合などに異常を知らせる水生活センサーも設置されています。

所が来年三月に完成予定です。同集会所は高齢者生活相談所を兼ねた施設で、普段はライフサポートアドバイザー（生活援助員）が常駐し、高齢者世話付住宅に入居している方のよき隣人として自立生活の援助などを行います。

また、同施設には緊急通報表示盤などが設置されます。緊急通報システムや水生活センサーを通じて通報などがあつた場合、日中は生活援助員が対応。生活援助員が不在になる夜間と土・日曜日は、専用回線で結ばれている町社会福祉協議会が対応に当たります。

▲ 柳沢団地B棟の整備概要（間取り・戸数）

種類	タイプ (面積)	間 取 り	戸数
一般向け	Aタイプ 57.34㎡	台所・食堂、和室8畳、和室6畳、水洗トイレ、洗面所、浴室	6
	B1タイプ 65.32㎡	台所・食堂、和室6畳×2、洋室(10.5㎡)、水洗トイレ、洗面所、浴室	4
	B2タイプ 65.32㎡	台所・食堂、和室6畳、洋室(10.5㎡)、洋室(10.8㎡)、水洗トイレ、洗面所、浴室	2
高齢者向け	Cタイプ 57.34㎡	台所・食堂兼居間、和室8畳、水洗トイレ、洗面所、浴室 高齢者単身向け	3
	Dタイプ 65.32㎡	台所・食堂、和室8.5畳×2、水洗トイレ、洗面所、浴室 高齢者世帯向け	3
中所得者向け	Fタイプ 74.87㎡	台所・食堂、和室8畳、和室6畳、洋室(10.5㎡)、水洗トイレ、洗面所、浴室	3